

講義名	経営組織特論			授業形態		
担当教員	柿沼 英樹	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 5 時限			
		単位数	2	履修開始年次	1 年生	ナンバリング・コード
主題と概要						
この講義では、複数の人びとが集まった「組織（organization）」をつくって動かすことに関わる基本的な理論や考え方について学ぶ。組織の構造や文化に関心を向けるマクロ組織論（組織理論）と、組織内の個人や集団の行動に関心を向けるミクロ組織論（組織行動論）の代表的なトピックを取り扱う。これらを学習することで、組織についての理解を深めるとともに、組織やそこに関わる人びとの振る舞いについて考える能力を身につけることを目指す。						
到達目標						
(1) 経営組織論の主要な概念やモデルを説明できるようになる。 (2) 経営組織に関する問題を分析し、解決策を提案できるようになる。 (3) 経営組織に関する理論を、自身の研究テーマと関連づけることができるようになる。						
提出課題						
(1) 毎回の授業において、その日の内容に関する小テストを実施する。 (2) 講義全体を総括するようなレポート課題を提示する。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
(1) 授業回ごとの小テストについては、授業内にて解答の提示と補足解説を行う。 (2) レポート課題については、LISを通じて全体向けにフィードバックを行う。						
評価の基準						
(1) 以下の2つの要素を組み合わせて評価する。 a. 小テスト 40%：毎回の授業内容の理解度を確認する。 b. レポート課題 60%：経営組織論に関する総合的な理解度、および修得した知識の活用度について評価する。 (2) 5回以上欠席した場合は、自動的に「放棄」として取り扱う。						
履修にあたっての注意・助言他						
(1) 経営組織論をはじめて日本語で学ぶ履修者に配慮した授業設計を行うが、応用的な話題も若干取り扱う。 (2) 取り扱う内容は、履修者の興味・関心を踏まえて変更することがある。						
教科書						
キャリアで語る経営組織 第2版.		稲葉祐之・井上達彦・鈴木竜太・山下勝		有斐閣	2420	9784641222014
参考図書						
.はじめての経営組織論.		高尾義明		有斐閣	2090	9784641150683
.組織論補訂版.		桑田耕太郎・田尾雅夫		有斐閣	2310	9784641124127

その他		
その他の文献は、適宜案内する。		
授業計画		
01. ガイダンス：授業の進め方、経営組織論の位置づけ 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
02. 組織とは何か：組織の定義、成立・存続の要件 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
03. 組織と個人はどう関わり合うのか：契約、人格、調和過程 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
04. 組織に馴染むとはどういうことか：文化の機能・逆機能、組織社会化 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
05. 仕事意欲はどう生じるのか：モチベーションの内容理論と過程理論、やる気の自己調整 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
06. キャリアを考えるとはどういう意味か：キャリア発達、デザインとドリフト、多様なキャリア観 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
07. 組織をまいるには何をすべきか：リーダーシップの資源論、行動論、状況適応論 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
08. 組織であることに弊害はないのか：個人と組織の意思決定、集団力学、チームワーク 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
09. 組織が学ぶとはどういうことか：個人学習と組織学習、組織ルーティン、学びほくし 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
10. 意見の相違をどう乗り越えるのか：コンフリクトの種類と対処方略 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
11. 組織のかたはとはどう決めるのか：分業と調整、組織構造 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
12. 組織は「空気」を読むべきか：オープン・システムとしての組織、環境適応 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
13. 他の組織とどのように関わり合うのか：資源依存、組織間ネットワーク 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
14. 組織は変えられるのか：変革プロセス、変革型リーダーシップ 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
15. 全体のまとめと補足解説 【予習】講義資料と教科書を通読し、概要を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい事柄について、教科書などをもとに調べる（120分程度）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
経営活動の主体である組織の実相を捉えるための学術的枠組みへの理解を深める科目である。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		